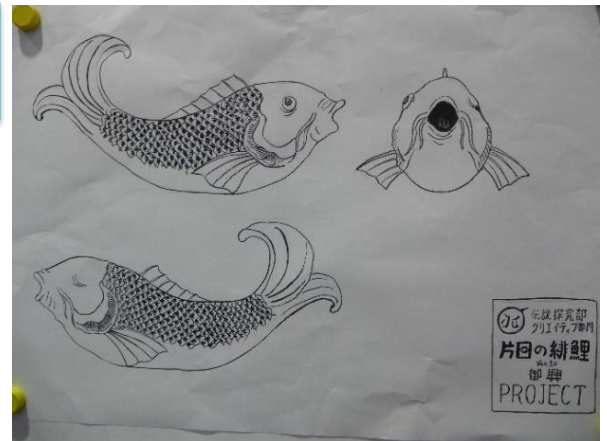


大緋鯉完成!!そして点晴式へ...

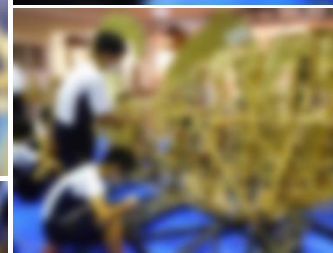
今年度のデザインはこちら!!

制作が始まる前に、2年生からデザインを募集しました。それらをもとに、NPO法人の海老江さんと妖怪造形家の天野さんにご協力いただき、今年度のデザインが仕上がりました。今までの妖怪らしい少し怖めなデザインから一新して、今回は可愛さを混ぜた緋鯉になったとのことです。

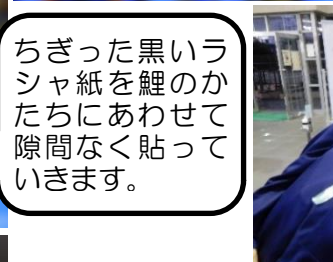


制作の様子

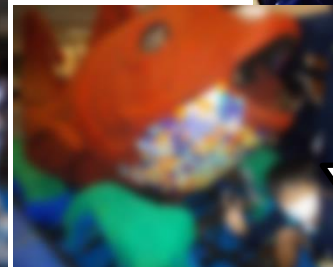
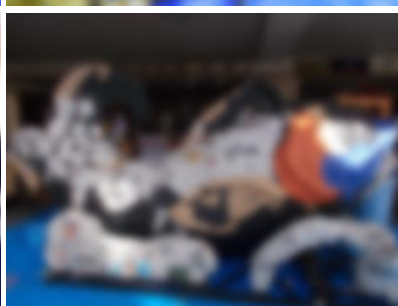
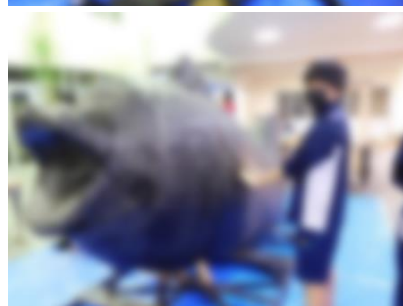
大緋鯉制作チームとして設立された「伝説探究部」の24名の2年生が、毎日遅くまで学校に残って作業をしてくれました。またボランティアで手伝ってくれた生徒も多く、制作は順調に進みました。



最初は竹とダンボールの骨組み作りから始まります。1つ1つ手作業で丁寧に組み立てられました。



ちぎった黒いラシヤ紙を鯉のかたちにあわせて隙間なく貼っていきます。



赤く色づけされた鯉の腹には、キラキラした紙が貼られました。今までにない、斬新で美しい鯉になりました。

25日(月)に、ついに大緋鯉が完成しました。約2週間の制作でしたが、時間で表すとちょうど延べ24時間ほどで完成したようです。例年と比べるとかなり短い時間で完成できたようで、2年生の団結力に天野さんも大変感心されていました。



点睛式



26日(火)の5時間目に学年全員で校庭に集まり、御輿を担いでまわりました。本来であれば、実際に隅田川まで御輿を運び、川の水で溶いた墨を使って行われる点睛式ですが、今年度は隅田川から水を汲み、校庭で行われました。1組からスタートした御輿は、2組、3組、4組と渡っていき、最後は伝説探究部によって、校庭の中央へと運ばれました。そこから式が始まり、部長の〇〇〇〇さん(2組)と副部長の〇〇〇〇さん(2組)の2人の手で、緋鯉の目に黒目が入られました。少し緊張している様子でしたが、緋鯉に命を吹き込む大役を見事に務めてくれていたと思います。また、式が終わったあとは、伝説探究部の全員で目を入れました。全員で協力して完成させた、最高の大緋鯉をありがとうございました!

